

## トング Day ～明治学院大学生と地域住民による地域清掃

私たち Reople（リープル）は環境や農をテーマに取り組んでいるサークルである。今回のボラチャレでは、地域の清掃活動「トング Day」を企画した。トングとは清掃の時にゴミを拾う道具であり、トングを使ってゴミ拾いをする日ということで「トング Day」と名付けた。

明学生は通学する際住宅街の中を通るため、学生が大勢歩くことで話し声による騒音や、ゴミを落としてしまうといった迷惑を周辺住民にかけてしまっているということがある。この問題を解決していくためには学生が地域に関心を持ち、周辺住民のことを考えられるようにしなければならないと思い、「トング Day」をおこなうことにした。この活動の目的として「学生の地域貢献の場を設ける」「学生と地域の交流の場を増やす」「学生と地域住民の美化意識を高める」という3つの項目を掲げ、地域の清掃活動への参加や「トング Day」を実施し、明学生の有志と一緒に活動してきた。

これまでの経過としては、地域の清掃活動に参加して、戸塚駅前のペDESTリアンデッキの清掃（7月）や小田急分譲地内の公園清掃（11月）などの活動をおこなった。活動を通して地域の方がどのような取り組みをおこなっているのかということを知ることができ、また地域の方との繋がりができた。また、Reople が主催して「トング Day」を2回実施した。11月26日に実施した「トング Day vol.1」では、明学生5名の参加者と一緒に、帰り道に横浜校舎から戸塚駅までの道を清掃した。普段は特に気にしていない道でも、意識して見てみるとかなりのゴミが落ちていた。拾ったゴミは横浜市の分別に従って燃えるゴミ、プラスチックゴミ、ビン・缶・ペットボトルに分別し、ゴミ袋1袋分のゴミを拾った。12月21日におこなった「トング Day vol.2」は戸塚駅のペDESTリアンデッキで開催された冬至キャンドルナイトにあわせて実施し、戸塚駅周辺の清掃活動をおこなった。明学生や高校生、東戸塚小学校の子どもたちとその保護者などが集まり、参加者は総勢20名を越えた。子どもたちがにぎやかに街を歩いてたくさんのごみを拾い、2袋分のゴミを集めることが出来た。参加者の子どもから「道にゴミを捨てちゃいけないよね」という言葉が出るなど、地域住民の美化意識の向上にもつながったのではないかなと思う。

今までの活動では広報が足りず「トング Day」に参加する明学生が少なかった。これからは明学生に広く認知される活動になるために学内でも活動を活発におこない、誰でも参加できるボランティアを目指していく。そのために定期的に「トング Day」を実施して、広く参加を呼びかけるなどの努力をしていきたい。また、清掃活動だけではなく環境について考えるワークショップなどを企画し、明学生が地域や環境のことを考えるきっかけとなる活動として「トング Day」を続けていきたいと考えている。今後活動を継続して参加者を増やし、将来的には地域住民と協力して「トング Day」をおこなうなどの活動を展開し、明学生と地域をつなぐ役割を果たせるようになっていきたい。

（社会学部社会学科2年 菊地由花）